

安倍総理大臣、森会長、バハ国際オリンピック委員会会長との電話会談

本24日午後8時00分から約45分間、安倍晋三内閣総理大臣と森東京2020組織委員会会長は、トーマス・バハ国際オリンピック委員会(IOC)会長(Mr. Thomas BACH, President of the International Olympic Committee)と電話会談を行ったところ、概要以下のとおりです。(小池東京都知事、菅内閣官房長官、橋本東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣他同席。)

1. 双方は、アスリート、IF(各国国際競技連盟)、NOC(各国オリンピック委員会)等の意向に鑑み、大会中止が選択肢にはないことで一致しました。
2. その上で、双方は、アスリート及び観客の安心・安全を確保することが最も重要であり、この観点から、現在の世界の状況が継続的に悪化していることに鑑み、予定どおり本年7月に開催することは不可能であり、更には年内に開催することも不可能であり、延期とせざるを得ない旨一致しました。
3. 上記の理解の下、双方は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の実施に向けて、IOCと、東京2020組織委員会、政府、東京都を始め、内外の関係機関が一体となり、遅くとも2021年夏までの実施に向けて、具体的に検討していくことで一致しました。

(以上)